

# ふくい街角景気速報

(平成23年8月分)

調査期間 平成23年8月8日～26日 (回答率：96%)

## 概況

景気の現状判断DIは46.9となり、前月に比べ0.8ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは38.8となり、前月に比べ4.2ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 46.9 (前月比 ▲0.8)

家計部門を見ると、一部のショッピングセンターやコンビニエンスストアなどから、お盆やお中元、海水浴客など季節的要因により、客数や売上高が増加したとの声が聞かれた。また、旅館やホテル、旅行業者からは、客足が戻ってきたとの声も聞かれた。

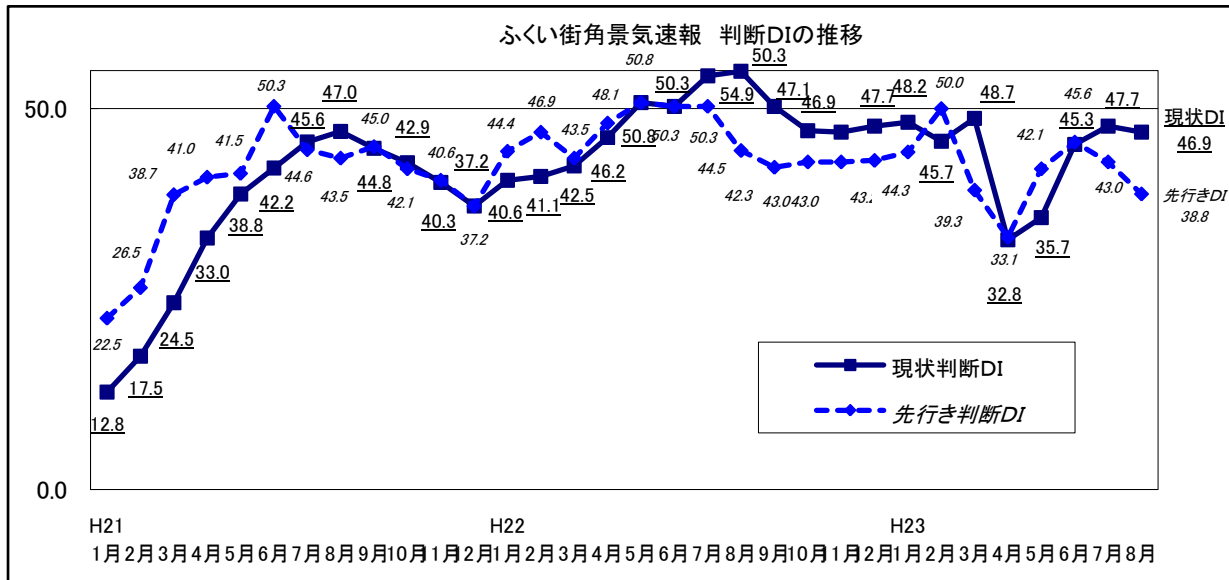
企業部門を見ると、電機機械や鉄鋼などの一部の企業では受注量が増加しているとの声が聞かれたものの、多くの企業からは、原発問題の長期化や円高などにより、受注量や受注価格の低下を心配する声が聞かれた。

雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、求人に見えないとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 38.8 (前月比 ▲4.2)

家計部門を見ると、原発問題の長期化や株安、国内政治への不信感などから、消費者の購買意欲が停滞を続けるのではないかと、心配する声が多く聞かれた。

また、企業部門や雇用部門からは、円高や原材料価格の上昇、世界経済の減速などを懸念する声が多く聞かれた。



### <目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

#### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

#### (3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

### 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

### 4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100  
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

## 調査結果

### 1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、46.9となり、4か月ぶりに低下した。  
先月と比べ、家計部門は上昇したものの、企業部門は低下した。また、変わらないとする回答が減少し、悪化しているとする回答は増加した。

家計部門を見ると、一部のショッピングセンターやコンビニエンスストアなどから、お盆やお中元、海水浴客など季節的要因により、客数や売上が増加したとの声が聞かれた。また、旅館やホテル、旅行業者からは、客足が戻ってきたとの声も聞かれた。

企業部門を見ると、電機機械や鉄鋼などの一部の企業では受注量が増加しているとの声が聞かれたものの、多くの企業からは、原発問題の長期化や円高などにより、受注量や受注価格の低下を心配する声が聞かれた。

雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、求人に見られないとの声が聞かれた。

#### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H23 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		48.7	32.8	35.7	45.3	47.7	46.9	▲0.8
家計動向関連		45.5	28.1	35.8	45.3	47.5	48.5	+1.0
小売		47.9	30.9	37.1	41.9	50.0	48.5	▲1.5
飲食		25.0	12.5	31.3	50.0	25.0	31.3	+6.3
サービス		45.5	25.0	33.3	55.0	45.8	54.2	+8.4
企業動向関連		51.4	40.7	36.0	47.1	46.3	42.6	▲3.7
製造業		52.0	45.0	39.6	48.1	48.0	44.0	▲4.0
非製造業		50.0	30.0	27.5	44.4	41.7	38.9	▲2.8
雇用関連		53.8	29.2	34.6	40.4	52.1	52.1	+0.0

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(7月調査結果)  
現状判断DI 52.6

#### ○回答別構成比

	年 月	H23 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなっている		1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなっている		16.3%	7.3%	9.2%	25.0%	24.0%	25.0%	+1.0
変わらない		62.2%	25.0%	28.6%	36.5%	46.9%	39.6%	▲7.3
やや悪くなっている		17.3%	55.2%	54.1%	33.3%	25.0%	33.3%	+8.3
悪くなっている		3.1%	11.5%	7.1%	5.2%	4.2%	2.1%	▲2.1

## 2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、38.8となり、2か月続けて低下した。  
先月と比べ、全部門で低下した。また、悪化するとの回答が半数以上を占めた。

家計部門を見ると、原発問題の長期化や株安、国内政治への不信感などから、消費者の購買意欲が停滞を続けるのではないかと、心配する声が多く聞かれた。  
また、企業部門や雇用部門からは、円高や原材料価格の上昇、世界経済の減速などを懸念する声が多く聞かれた。

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H23 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		39.3	33.1	42.1	45.6	43.0	38.8	▲4.2
家計動向関連		36.5	33.2	44.6	44.8	41.0	38.5	▲2.5
小売		40.0	33.8	44.3	43.4	41.4	33.1	▲8.3
飲食		18.8	18.8	50.0	31.3	8.3	25.0	+16.7
サービス		31.8	36.4	43.8	55.0	47.9	58.3	+10.4
企業動向関連		42.9	34.3	39.0	45.7	42.6	38.2	▲4.4
製造業		48.0	35.0	39.6	44.2	44.0	42.0	▲2.0
非製造業		30.0	32.5	37.5	50.0	38.9	27.8	▲11.1
雇用関連		40.4	29.2	40.4	48.1	52.1	41.7	▲10.4

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(7月調査結果)  
先行き判断DI 48.5

### ○回答別構成比

	年 月	H23 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	▲1.0
やや良くなる		15.3%	8.3%	15.3%	20.8%	10.4%	13.5%	+3.1
変わらない		35.7%	26.0%	43.9%	46.9%	52.1%	35.4%	▲16.7
やや悪くなる		39.8%	55.2%	34.7%	26.0%	32.3%	43.8%	+11.5
悪くなる		9.2%	10.4%	6.1%	6.3%	4.2%	7.3%	+3.1

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	小売店	・夏休みに入り、県外観光客が増加。	
		奥越	小売店	・アナログ放送終了により、もう少し来客や商品が動くと思っていた。	
		丹南	小売店	・お中元とお盆のシーズンだったため、売り上げは増加した。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・6月、7月、8月は好調維持。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・宝飾は6月、7月と回復基調で前年確保したものの、8月は先月のリバウンドで宝飾前年割れ。 ・一方、美術が好調で宝飾の不振をカバー。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・8月菓子中心にお盆好調、天候不順で生鮮不振もその他でカバー。	
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・客単価や売上額が上向いている。	
		福井	スーパー	・客単価が若干伸びている。	
		嶺南	コンビニエンスストア	・災害の影響は多少あるものの、今は1年で一番忙しい時期であり、来客数は増えている。	
		嶺南	コンビニエンスストア	・季節的な要因により客数、販売量は増えているものの、昨年と比べると減少している。	
		坂井	旅館	・夏休みは例年客の入りが良い。	
		嶺南	旅館	・今年の売上は前々年の水準であり、前年までは回復していない。	
		福井	ビジネスホテル	・インターネットによる宿泊予約が増加傾向にあり、間際の予約数がかなり増加している。 ・旧盆の宿泊予約はほとんど満室になった。	
		福井	旅行代理店	・7月中旬までは受注が前年を下回っていたが、以降は前年を上回ってきた。	
	企業 動向	丹南	眼鏡	・I O F T や年末に向けての新型の受注が昨年より多い。	
		丹南	電気機械	・受注量が増加してきている。	
		福井	化学・プラスチック	・取引先や顧客が震災から徐々に立ち直ってきている。	
		丹南	鉄鋼	・国および海外の受注増。	
		福井	金融機関	・震災による部材の供給不足も解消。 ・住宅エコポイント終了に伴う前倒し受注等が増加。	
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・震災の影響も少なく、製造業に関しても震災前の状況に戻りつつある。	
		福井	学校就職担当者	・本校への求人件数が昨年同時期と比べて増加している。	
	③変わらない	家計 動向	丹南	商店街	・販売量の動きに変化がない。
			福井	小売店	・ここ数ヶ月の客足も変わらず、暑さと震災の影響が大きい。
丹南			小売店	・客の話では「良い」「悪い」が半々程度で変化なし。	
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・売上は伸びてはいるが景気が良くなっているとは思わない。	
奥越			百貨店、 ショッピングセンター	・下向き基調は変わらず、毎月下がり続けている。	
丹南			スーパー	・客の購買点数は若干減ったが、客数は増えているので全体的に変わってはいない。	
嶺南			ドライブイン	・高速道路無料化実験中止および原発の風評の影響が継続しているものの、悪化はしていない。	
福井			割烹	・来客数は増しているが、単価はますます低くなっており人件費、仕入、諸経費がとてつもない。	
坂井			観光・レジャー施設	・客の様子に変化がない。	
坂井			旅行代理店	・売上が伸びない。	
福井			タクシー	・宴会などが減っているのか、客があまり多くない。	

③変わらない	企業 動向	坂井	繊維	・取引先の様子に変化がない。
		福井	繊維	・8～10月はシーズンオフのため、変化しない。
		坂井	繊維	・売上が伸びない。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きに変化がない。 ・相変わらず住宅関連は受注量が伸びない。 ・震災の影響で産業資材関係は生産調整に入っているユーザーもある。
		福井	商社	・個人向けガソリン、経由、工場向け重油ともに前年割れしており、販売価格の競争が激しく利益出ない。
		丹南	食料品製造	・飲食業は非常にきびしい状況が続く。 ・安売り、食の安全性、競合店の出店、原価の値上がり、消費意欲の停滞など、今後の見通しが見えない現状である。
		嶺南	医薬品	・景気動向に左右される一般薬、健康食品の動きに変化は見られない。
		福井	IT関連	・受注量の動きに変化がない。
		福井	金融機関	・サプライチェーンの回復により震災の影響はかなり薄らいでいる。 ・個人消費についても持ち直しの動きが見られる。
		坂井	建設業	・政情不安が懸念材料。
		雇用	奥越	自治体労働政策担当課
	福井		労働相談員	・求人の雇用形態に変化がなく、非正規が多い状況。
	嶺南		労働相談員	・敦賀の有効求人倍率は前年同月を上回ったものの、新規有効求人倍率は下回った。 ・小浜は有効求人倍率、新規有効求人倍率ともに前年同月を上回った。
	嶺南		学校就職担当者	・東日本大震災の復興が少しずつしか進まず、アメリカの景気も悪化傾向にあるなど、景気上昇の要因が見つかからない。
	福井		ジョブカフェ担当者	・福井県内の有効求人倍率は足踏み状態にあり、今後大きく好転する兆しも見えない。
	福井		人材派遣会社	・求人数の動きに変化がない。
	福井		就職情報誌	・求人数に変化がない。
	嶺南		就職情報誌	・客の動向やメーカー、協力業者の様子に変化がない。
	④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街
福井			小売店	・客の入りが増えている。
奥越			小売店	・客から消費意欲が感じられない。
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・8月は客数が前年を下回っている。
嶺南			百貨店、 ショッピングセンター	・7月は客単価、客数が前年を下回り、直近3ヶ月続けて前年を割り込んでいる。
丹南			スーパー	・牛肉のセシウム問題等により、客は商品の品質に神経質になっており、牛肉を中心に買上点数にも影響が出ている。 ・結果販売額も昨年を下回ってきている。
坂井			スーパー	・節電関連商品や地デジ関連商品が一巡し、消費意欲も弱含みとなっている。
嶺南			スーパー	・7月中旬～8月中旬にかけて、例年に比べ県外客が少なかった。
福井			大型小売店	・必要なものしか買わなくなっている傾向にある。
嶺南			大型小売店	・CTVの売上が鈍化し、エアコン等も終息。
嶺南			観光物産店	・夏休みに入ってから、客数が激減し販売額の減少が著しい。
福井			居酒屋	・客の動きが少なくなっている。
丹南			クリーニング店	・毎年夏の間は閑散期である。
福井			結婚式場	・来客数が6月、7月とあまり良くなかった。

④やや悪くなっている	企業 動向	奥越	繊維	・輸出関連は円高の影響もあり、受注に力強さが欠ける。
		丹南	眼鏡	・東日本大震災の影響が回復には向かっているが、価格下落が続いているので回復が見えてこない。
		丹南	眼鏡	・原発事故が全然解決されていない。 ・アメリカをはじめ、欧州や中国などにもリスクがあり、良くなる要素が見当たらない。
		坂井	一般機械	・原発に関する影響が、徐々に産業界に広がってきている。 ・海外でも日本製は危険など、敬遠される。
		奥越	電気機械	・販売数量や実受注数から判断して、景気はやや悪くなっていると判断する。
		丹南	伝統工芸	・受注量、販売先の動きがやや悪くなってきている。
		丹南	伝統工芸	・原料の出荷量が減少している。
		坂井	非鉄金属	・震災のリカバリ需要と夏場の関東計画停電懸念のための夏場前駆け込み需要が一服し、その反動が来たような感触がある。
		坂井	IT関連	・競争激化等で受注額が減少している。
		嶺南	建設業	・集中豪雨による災害対策業務も一段落し、業務が手薄になっている。 ・公共の業務も前年より少ない感じがあり、この状況で推移すると固定費が重荷になって来る可能性が高い。
		福井	不動産	・土地の購入見込み客が少なくなっている。 ・建築見込客は、エコポイント、フラット35Sの金利優遇処置の期限切れ前の駆け込み需要で前年同様。
		福井	運輸	・貨物の運搬量、売上高が前年比減少、 ・震災後の荷動きが少し低調であったことに加え、最近の円高の影響がある。
		福井	運輸	・取引先の荷動きが悪化している。
	雇用	奥越	学校就職担当者	・8月も後半に入り、新高卒の求人も大体出そろった感じだが、やはり全体として厳しい。
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	レストラン	・舞鶴道小浜I・Cが開設されたプラス要因より、舞鶴道の無料化が終了したマイナス要因の方が大きく、来客数が減少している。
		福井	駐車場	・利用者台数、収入ともに、昨年同期および3ヶ月前と比べて減少。 ・円高、株安、個人消費の低迷等上向き材料が乏しく、先行きは不透明である。



### 3. 判断理由

#### (2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなる	家計 動向	奥越	小売店	・消費者の購買ムードが改善することが期待される。	
		丹南	スーパー	・食に対する放射線の検査も厳しくなってきた、より安全な基準になると思うので、上向くと考えている。	
		福井	自動車整備	・来年3月にエコカー減税が終了するため、少しは駆け込み需注があると考えている。	
		嶺南	旅館	・底は打ったと考えている。	
		福井	ビジネスホテル	・団体予約とインターネット等の一般客とがバランスよく入ってきている。	
		福井	旅行代理店	・7月中旬より販売が前年を上回っている。	
	企業 動向	福井	化学・プラスチック	・震災からの復興と顧客の稼働率が回復することが期待される。	
雇用	福井	学校就職担当者	・首相交代により期待が生まれる。 ・製造業の回復が進んでいる。		
③変わらない	家計 動向	坂井	小売店	・観光シーズンが続くため、来店客はあまり変わらない。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・今後も大きな変動与件がなければ前年ベース、または、微減で推移すると思われる。	
		坂井	百貨店、 ショッピングセンター	・購買意欲の減退や節約志向が続いている。	
		丹南	スーパー	・震災以降の畜産・農産物の諸問題について、当面は影響が出た状態が続くと思われる、また、景気に対する先行きの不安感も依然続いていると考えられる。 ・客の消費動向は縮小傾向のまま推移していくことが予測される。	
		嶺南	スーパー	・地元の客は安定している。	
		福井	大型小売店	・悪化しても上昇はしないと考えている。	
		嶺南	コンビニエンスストア	・例年秋はシーズンオフになるため、来客数は減少が見込まれる。	
		福井	駐車場	・円高や株安、復興にともなう増税感など、景気回復は当分見込めない。	
		坂井	旅館	・震災の影響が残っていると考えられる。	
		坂井	旅行代理店	・以前と比べても受注の量が変わってない。	
		企業 動向	坂井	繊維	・円高が厳しく懸念される。
		福井	繊維	・多くの会社が8月の休みを長くとり、その後の動きが鈍くなりそう。	
	丹南	眼鏡	・I O F T以降は受注は多いが、それまでは変わらない。		
	丹南	眼鏡	・採算が合わないのに受注せざる得ない事情がつづいているのと、資金繰りの悪化も出ているので回復には時間がかかる。		
	丹南	電気機械	・先行き不透明。		
	福井	化学・プラスチック	・震災復興の特需はもう少し後になりそうである。		
	丹南	伝統工芸	・先行きが見えない。		
	福井	商社	・メーカーは微増の生産計画だが、販売は減少している。 ・個人も企業も節約志向で、利益は悪くなる。		
	嶺南	医薬品	・先行きの景気動向に期待できず。		
	福井	IT関連	・受注量の動きに変化がない。		
	福井	金融機関	・景気に持ち直し感が見られる一方で、米国債の格下げに端を発した株安、円高といった不安材料もある。		
	雇用	坂井	建設業	・世情の変化がない。	
	奥越	自治体労働政策担当課	・市内企業では、新規誘致した木材加工会社のみ売上好調。		
丹南	自治体労働政策担当課	・全体的には回復してきていると思われるが、円高の影響等不安要素がある。			



③変わらない	雇用	嶺南	労働相談員	・有効求人倍率、新規求人倍率の改善率も足踏み状態になっており、この所の円高の影響が気になる。
		嶺南	学校就職担当者	・景気上昇が見られず停滞している。
		福井	ジョブカフェ担当者	・現在の為替相場が超円高水準であり、海外取引による為替差損がこれ以上増えると製造業の海外進出が加速する恐れがある。 ・政府・日銀の円売り介入が実施されることを前提に、現状が今後も続くと思込まれる。
④やや悪くなる	家計 動向	福井	商店街	・牛肉の放射能問題などの影響による食への不信からか、堅実な買い方にシフト。
		丹南	商店街	・製造業従事者の多く、現状の為替相場が徐々に影響を及ぼすと考えられる。
		福井	小売店	・新築工事や改築工事が無い。
		福井	小売店	・円高と政治不安から良くなるようには思えない。
		丹南	小売店	・株安、円高が進行し、地場産業が益々悪化することが懸念される。
		奥越	小売店	・アナログ放送が終了し、反動が予想される。
		丹南	小売店	・例年秋は低調。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・円高、株安で景気の先行きが見えない状況が強くなっている。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・円高不況による消費の低迷。
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・政治情勢や災害の影響。
		嶺南	百貨店、 ショッピングセンター	・今後も客数及び客単価の減少が続くと考えている。
		嶺南	観光物産店	・原子力発電所を周囲に持っているという風評的な負のイメージ。 ・放射能汚染食材の不安で外食が控えられている。
		嶺南	ドライブイン	・夏の高揚気分から秋の落ち着いた気分になることで、消費の低下が心配。
		嶺南	レストラン	・来客数の減少が予想される。
	福井	居酒屋	・客の動きが少なく、お金も使わない。	
	丹南	クリーニング店	・秋の割引セールを開始するため、売上増を期待している。	
	福井	結婚式場	・客の動きが昨年に比べて悪い。	
	企業 動向	奥越	繊維	・政治経済の不安定さが景気回復の足を引っ張っている。 ・円の動向が気になる。
		坂井	繊維	・毎年10月～11月は婦人、子供服製造が最も少なくなる時期である。
		丹南	眼鏡	・景気が上向くと、そのたびに水を差す出来事が、日本や世界で起こっている。
		坂井	一般機械	・円高の影響がこれからジワジワと出てきて、輸出している機械が定減してくる。
		福井	一般機械	・円高や株安、世界経済の減速など、景気の下向き材料が多く不透明。
		奥越	電気機械	・東日本大震災による節電、最近の円高・ドル安による金融市場の先行き不透明感など、景気の上昇を促すプラス要因が見当たらず、判断が難しいがやや悪くなると推察する。
		丹南	伝統工芸	・受注量の減少。
		丹南	食料品製造	・世界経済の混乱、円高、震災の対策、政治力が問われるところであるが、今の日本政治では先が暗すぎる。
		坂井	IT関連	・円高、政治の混迷等による景気減速。
		福井	金融機関	・急激な円高、政策の不安定化、原油の高値基調継続など懸念材料が多い。
福井		運輸	・昨年右肩上がりで伸びた売上高は、今年に入り増加率が減少し、7月は前年比マイナスとなった。 ・今後はマイナス要因のほうが多い。	
福井		運輸	・取引先の状況がやや悪化している。	
		雇用	福井	労働相談員

④やや悪くなる	雇用	奥越	学校就職担当者	・最近の円高傾向を懸念している。
		福井	人材派遣会社	・円高の影響が懸念される。 ・東日本震災により予算が東日本に集中し、他の地域に回ってこない。
		福井	就職情報誌	・アメリカも日本も政治家がこの正念場に誤った判断をすれば、世界中が悪くなるおそれがある。
		嶺南	就職情報誌	・震災の復興需要への期待もあるが、原発停止に伴う地元経済への影響が懸念される。 ・テレビのデジタル移行特需が去って電気店などの販売が落ち込む懸念がある。
⑤悪くなる	家計 動向	奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・客の顔に笑顔と余裕を感じられない。
		坂井	スーパー	・米国、欧州の減速、円高、株安により、当面、日本の景気も停滞するものと考え る。
		嶺南	コンビニエンスストア	・地域の特性ともいえる原発関係の業態が見えず、それに伴った人の動きも弱くなる ことが懸念される。
	企業 動向	坂井	非鉄金属	・7月以降計画停電実施と夏場電力供給不足、震災復興需要一段落のため受注は減る と予想している。
		嶺南	建設業	・災害対策予算の為に増税の見込み、交付税の削減など市況を冷えさせる材料には事 欠かない。 ・景気を回復させる材料は非常に乏しいと判断される。
		福井	不動産	・円高、株安、震災後の復興スケジュールと確かな足取りが見えない政治の在り方が 心配。

#### 4. 参 考

##### (1) 調査対象の構成

調査対象		人数
<b>家計動向関連</b>		51
<b>商店街、小売店</b>		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
<b>百貨店、SC等</b>		
	店長・売場主任	10
<b>スーパー</b>		
	店長・従業員	6
<b>家電販売店</b>		
	経営者・店長・従業員	2
<b>コンビニエンスストア</b>		
	店長	2
<b>ドライブイン等</b>		
	経営者・スタッフ	3
<b>飲食関連</b>		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
<b>その他サービス関連</b>		
	サービス業経営者・従業員	4
<b>観光関係</b>		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>		36
<b>製造業経営者・従業員</b>		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
<b>非製造業経営者・従業員</b>		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
<b>雇用関連</b>		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

## 4. 参 考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。  
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている    ②やや良くなっている    ③変わらない  
④やや悪くなっている    ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる    ②やや良くなる    ③変わらない    ④やや悪くなる    ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)